

東京大学史料編纂所 共同利用・共同研究拠点

一般共同研究『『覚禅鈔』諸本の調査研究』による公開研究会（第一回）

東京大学史料編纂所では、2010年度より「日本史史料の研究資源化に関する研究拠点」の事業として、所内外の研究者による「共同利用・共同研究」の研究課題の募集を開始しました。今年度、一般共同研究課題に採択された『『覚禅鈔』諸本の調査研究－東海・関東所在の蒐集史料を中心に－』（研究代表者・上川通夫）では、下記要領にて研究会を開催いたします。多方面にまたがる内容を含んだ『覚禅鈔』にふさわしく、幅広い分野からのご来聴をお待ちしております。

日時：2010年12月10日（金） 13:30～17:00

場所：東京大学史料編纂所・大会議室

（史料編纂所入り口の向かい、UTカフェの地下一階）

http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_14_03_j.html

報告（いずれも仮題）：

上川 通夫（愛知県立大学）

『『覚禅鈔』研究の成果と課題－覚禅鈔研究会のあゆみを軸に－』

藤原 重雄（東京大学史料編纂所）

「佼成図書館所蔵『覚禅鈔』紹介－勸修寺本・千光寺本・宝亀院本－」

森 由紀恵（日本学術振興会RPD）

『『覚禅鈔』引用典籍にみる教学の構図』

司会：菊地 大樹（東京大学史料編纂所）

※人数把握のため、参加ご予約の方はメールフォームよりご一報いただくと幸いです（当日参加可）。

<https://www.hi.u-tokyo.ac.jp/footer/seminar-entry.html>